

科目名	統計学						
担当講師	Tee Kian Heng						
実務経験の概要							
履修年次	2	単位数	2	時間数	30	開講時期	前期
授業形態	講義						

授業概要

医療の分野では、根拠に基づく医療（Evidence based Medicine : EBM）が重要視されている。例えば、ある療法でリハビリテーションを実施したとき、その結果（データ）を集め、療法の効果の評価を行うことが必要にある。また、対象者の意識や行動を把握するためにリハビリテーションの実施前と実施後に質問紙（調査票）等の調査によってデータを集め、分析することがある。

統計学は、根拠に基づく医療を実施する上で不可欠のツールである。本科目では、データを要約・記述したり統計的に分析したりする際に必要となる基礎的な統計学的知識を教える。授業では講義が中心であるが、Excel等を使って統計量を算出するなどの作業も行い、統計学的知識をより深く理解できるようにする。

学修到達目標

統計学の全体的基礎知識の復習・確認・理解を最低限の学修目標とする。さらに、将来社会に出て統計学と関わる際に必要と思われる分析手法である「母平均の有意差検定」について、その理論背景の習得と操作方法の習得を目指す。これにより、統計学の臨床適用力・実践力が身に付くことを目標とする。

授 業 計 画

- 第1回 変数の記述（1）－度数分布表とヒストグラム
- 第2回 変数の記述（2）－中心的尺度（平均、中央値、最頻値）
- 第3回 変数の記述（3）－広がり尺度（分散と標準偏差、四分位点と箱ひげ図）
- 第4回 変数の記述（4）－広がり尺度（四分位点と箱ひげ図）
- 第5回 統計分布－確率変数、確率分布（二項分布、正規分布）
- 第6回 母集団と標本
- 第7回 推定と検定の基礎（1）
- 第8回 推定と検定の基礎（2）
- 第9回 比率の検定
- 第10回 比率の差の検定
- 第11回 平均の検定
- 第12回 平均の差の検定（対応がないサンプル）
- 第13回 平均の差の検定（対応があるサンプル）
- 第14回 クロス表、独立性の検定
- 第15回 散布図と相関係数

評価方法

期末試験成績：60%、レポート課題：30%と授業時のクイズ等：10%により合計100%で評価する。

教科書

石川朗・種村留美（総編集）、対馬栄輝・木村雅彦（責任編集）『リハビリテーション統計学』中山書店、2015年。

参考図書・文献

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

授業前の学習：テキストや授業資料の予習をすること。

授業後の学習：テキストや授業資料の復習をすること。また、授業の復習を兼ねて授業後に課題を課している。

課題・期末テストなどのために電卓(√機能付き)を用意してほしい。

科目名	公衆衛生学						
担当講師	高梨信之 及川龍彦						
実務経験の概要	高梨 信之 : 作業療法士 病院、介護保険関連施設にて、身体障害領域における実務経験を有する。 及川 龍彦 : 理学療法士 医療施設・老人保健施設において実務経験を有する。						
履修年次	2	単位数	1	時間数	15	開講時期	後期
授業形態	講義 オムニバス						

授業概要

公衆衛生学とは新生児から高齢者まで、健康な人も病気を抱えている人も、社会で生活するすべての人々を対象とした身体的・精神的・社会的健を守り増進するための考え方・社会制度・地域での実践を学習します。
公衆衛生に関する視点から世の中の現象に目を向けることで考え方や捉え方を学習します。

学修到達目標

1. 健康の概念を理解できる。
2. 疫学研究の概略を理解できる。
3. 我が国の保健医療福祉の施策について理解できる。
4. 障がい者・高齢者・母子等、あらゆる世代への保健推進を理解できる。
5. 地域で実践する保健活動を理解できる。
6. 社会に生じる現象を公衆衛生学視点で理解できる。

授業計画

第1回	公衆衛生学の基礎（健康の概念、予防医学の概念、公衆衛生の役割）	高梨信之
第2回	公衆衛生学の基礎（研究方法、疫学研究についての理解、人口統計の考え方）	高梨信之
第3回	保健医療福祉（健康日本21、生活習慣病、地域で実践する健康づくり）	高梨信之
第4回	母子・学校・産業保健に関わる基礎	及川龍彦
第5回	母子・学校・産業保健に関わる事例検討①（演習）	及川龍彦
第6回	母子・学校・産業保健に関わる事例検討①（演習）	及川龍彦
第7回	母子・学校・産業保健に関わる事例検討①（演習）	及川龍彦
第8回	母子・学校・産業保健に関わる事例検討①（演習）	及川龍彦
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

評価方法

高梨担当範囲50%（筆記試験（50%）レポート評価（50%）） 及川担当範囲：50%

教科書

シンプル衛生公衆衛生学 南山堂 プリント教材

参考図書・文献

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

現代社会では「公衆衛生」「疫学調査」などについて、文献や新聞・インターネット等を通じ、取り上げられることが多くあります。保健医療福祉の社会情勢に則した学問が公衆衛生ですので、多くのメディアを活用した情報収集も行って下さい。（高梨）
世の中の事象を捉えるため、新聞やニュースに普段から目を向けるように意識してください。（及川）